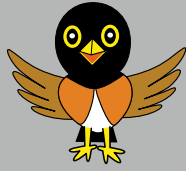


こっこめ通信 07 2022

「毛虫に注意！！」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

一般には鬱陶しい梅雨のまっただ中、動物たちの活動がとても活発な時期でもありますね。蛾の幼虫の毛虫も目立つ季節ですが、毛虫がみんな危険な訳ではありません。しっかりした知識を身につけ、正しく恐れることが大切です。そこで今回は気になる毛虫と、リニューアルした「植物公園季節調査会」のお話しです。(T.K.)

この容姿、ピンときたらご注意を！

梅雨を迎えるこの時期、植物たちはぐんぐん成長し草刈りや枝払いに忙しくなってきますね。そんな時、気づかず毛虫に刺されてしまうことは、よくある話ですね。毛虫には毒がないもの、毒があるものがあります。

下の面々は特に毒が強いので気をつけましょう！ (M.K.)



【ブドウスカシクロバ *Hedina tenuis* マダラガ科】
体長2センチほどの黄色い毛虫。島ではシチトウエビツルの葉を食べる。



【テングイラガ *Microleon longipapis* イラガ科】
体長9ミリほどのペタンとした毛虫で、体色は黄緑色、赤黄色、赤褐色と変異がある。サクラやツバキにつく。



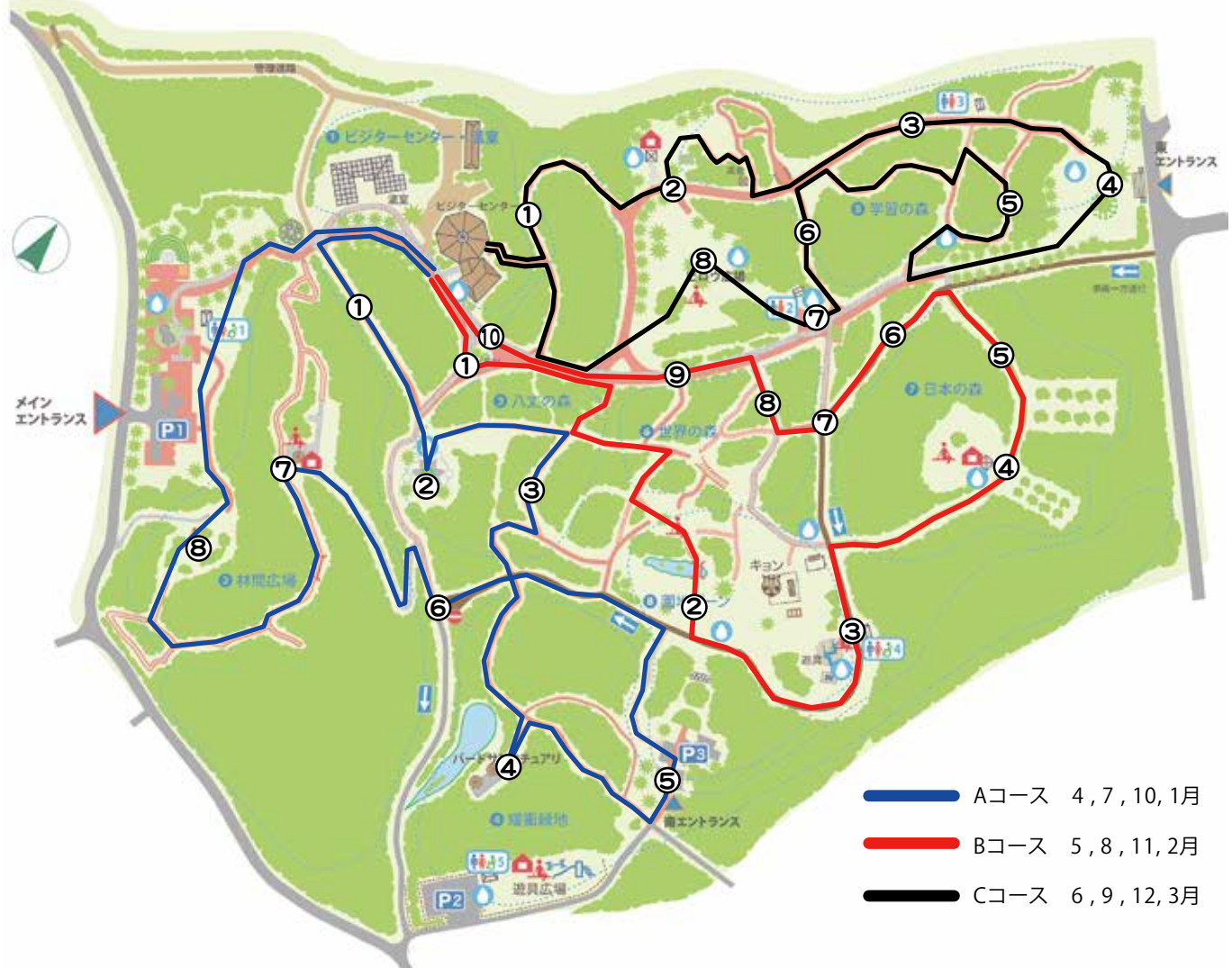
【マツカレハ *Dendroimus spectabilis* カレハガ科】
体長7センチほどにもなる大きめの毛虫。マツケムシの異名の通りマツにつき、葉を食べる。



【ゴマフリドクガ *Somena pulverea* ドクガ科】
体長2.5センチほどになる毛虫。黒くて背中に黄色帯がある。サクラ類やヒサカキ、マメ科の植物につく。

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

植物公園季節調査会はこうなりました



毎月第二日曜日に実施している「植物公園季節調査会」は今年度から内容を若干変更しました。

公園全体をカバーするために八丈植物公園をA.B.C. 3つのコースに分け、各コースを年間で季節毎に4回ずつ歩いて自然の変化を調査します。またそれぞれのコースには毎回必ず観察する植物を設定し、定点観察することで、より季節の変化を認識しやすいように工夫しました。

以下に各コースの概要を紹介します。数字が欠番になっているのは定点観察する植物が無い場所です。

Aコースは南エントランスと徳里山を含み公園の西側を巡るコースです。このコースのみどころはシダ植物の種類が豊富な道やバードサンクチュアリ、意外にもこの場所でしか見られない植物に出会える南エントランス、そして見晴らしの良い徳里山の頂上でしょう。しかし徳里山からメインエントランスへ下る石の階段は少し急なので注意が必要です。定点観察植物は①ハゼノキ・ツルグミ・トベラ・モチノキ雌木・シマモクセイ雌木 ②オオシマザクラ ⑤サクノキ・カラスザンショウ ⑦シマクサギ 以上。

Bコースは芝生広場と日本の森を含み、植物公園の中央を巡るコースです。このコースは平坦でキョンの檻や遊具もあることから他の来園者の方と出会うことも多く、八丈植物公園を知る人なら誰もが思い浮かべることのできるコースです。定点観察植物は①モチノキ雌木 ②スダジイ・ヤマモモ雌木 ③ホルトノキ ④ヤブニッケイ・タブノキ ⑤ミツバアケビ ⑥シマモクセイ雄木 ⑦イヌマキ雌木 ⑧ヤマモモ雌木 ⑨イヌマキ雄木・モチノキ雄木 ⑩シマモクセイ雌木・ハゼノキ雄木 以上。

Cコースは行啓記念碑や高倉、東エントランス付近とピロウ広場を含み植物公園の北側を巡るコースです。このコースは開けた芝生地や比較的樹高の高いスダジイの林もあり、ある程度のアップダウンもあって多様な環境が見られるので、自然観察しながらの園内散策にはうってつけのコースです。定点観察植物は①シロダモ雄木 ②モッコク ③ハゼノキ雌木 ④スダジイ ⑤モクレイシ雄木雌木 ⑥シチトウタラノキ ⑦モチノキ雌木 ⑧シチトウエビヅル 以上。

八丈植物公園季節調査会の報告

毎月第二日曜日に開催している「八丈植物公園季節調査会」、今回は6月12日に植物公園の北側を巡るCコースで実施しました。この日は電気設備故障のためビジターセンターは臨時閉館中だったのですが、野外の行事でビジターセンターの館内を利用する必要がなかったので、集合場所を公園内で唯一電源が確保されていた遊具広場の駐車場に変更して開催しました。どんな生きものが見られたのか、植物を中心に紹介します。

八丈植物公園季節調査（2022年度第3回）参加者：木下恵、木下和、VC 菊池、今井、後藤

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
① VC 裏八丈の森			26	キランソウ	花	59	ホソバツルメヒシバ	花
1	シロダモ雄木	若葉	27	クサイ	実	60	ホルトノキ	蕾
② 行啓記念碑入口			28	コケリンドウ	花	61	マサキ	若い実
2	モッコク	蕾	29	コナスビ	花と実	62	ママコノシリヌグイ	実
③ 坂の上			30	シチトウスミレ	閉鎖花	63	ミツバ	花
3	ハゼノキ雌木	実	31	シマモクセイ	実	64	ムラサキカタバミ	実
④ 東エントランス			32	シロツメクサ	蕾	65	モッコク	蕾
4	スダジイ	花の跡	33	シロバナマンテマ	実	66	ヤマイ	花と実
⑤ 通称一泰山			34	スダジイ	花の跡	67	ヤマヌカボ	実
5	モクレイシ雄木雌木	若い実	35	タブノキ	実	68	ヤマモモ	実
⑥ ジャカラングの細道			36	チガヤ	実	シダ植物		
6	シチトウタラノキ	蛾の巣網	37	チチコグサ	花と実	1	アマクサシダ	
⑦ 2番トイレ			38	チチコグサモドキ	花と実	2	イシカグマ	
7	モチノキ雌木	実	39	ツメクサ	花と実	3	ウチワゴケ	
⑧ ビロウ広場			40	ツユクサ	花	4	オオイタチシダ	
8	シチトウエビヅル	花	41	テイカカズラ	花	5	オオタニワタリ	
9	アオキ	若い実	42	テリハノブドウ	花	6	オニヤブソテツ	
10	アオノクマタケラン	花	43	トウバナ	実	7	カニクサ	栄養葉
11	アメリカスズメノヒエ	実	44	トベラ	実	8	タチクラマゴケ	胞子葉
12	イガガヤツリ	若い実	45	ナギナタガヤ	花	9	タチシノブ	胞子葉
13	イタバカズラ	実	46	ニワゼキショウ	花と実	10	タマシダ	
14	イヌビワ	実	47	ヌカボ	実	11	ノキシノブ	
15	イワニガナ	花	48	ネジバナ	花	12	ハチジョウカナワラビ	
16	ウスベニニガナ	花	49	ハゼノキ	実	13	ハチジョウシダ	
17	ウラジロチチコグサ	花	50	ハチジョウアザミ	蕾	14	ハチジョウベニシダ	
18	オオニワゼキショウ	蕾	51	ハハコグサ	花	15	ヒトツバ	
19	オオバコ	花	52	ヒサカキ	実	16	ホシダ	
20	オオバヤシャブシ	蕾	53	ヒナギキョウ	花	17	マツバラソ	
21	オオムラサキシキブ	蕾	54	ヒノキバヤドリギ	若い実	18	マメツタ	
22	オニタビラコ	花と実	55	ヒメクグ	花と実	今回はシダ植物 18 種を含む 86 種の植物を観察しました。昆虫ではホシヒトリモドキの様々なステージの幼虫が見られました。		
23	オニドコロ	実	56	ヒメユズリハ	若い実			
24	ガクアジサイ	花	57	フウトウカズラ	若い実			
25	カタバミ	花と実	58	ヘラバヒメジョオン	花			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「ゾウゲツヤノミギセル」にスポットを当ててみたいと思います。



ゾウゲツヤノミギセル *Hemizaptyx purrissima*

八丈島と三宅島でしか確認されていない希少なキセルガイです。

一見、八丈島で比較的よく目にするハチジョウノミギセルに似ていますが、ハチジョウノミギセルが落ち葉の下などで見られるのに対して、こちらのゾウゲツヤノミギセルは樹上性です。筆者は30年程前に三原山の頂上近くの立ち枯れたタブノキの洞で見えて以来見た事がなかったのですが、最近になって陸貝の研究者からゾウゲツヤノミギセルの生息地について耳寄りな情報を頂き、出向いたところ本当に出会う事ができました。四方八方に色々なアンテナを張っておくと、非常に有意義な情報を得られることもあります。情報収集は大切です。 (T.K.)

2022 八丈ビジターセンター 7 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります					1	2 ガイドウォーク
3 ガイドウォーク	4	5	6	● 小暑 7	8	9 ガイドウォーク
10 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	11	12	13	○ 14	15	16 ガイドウォーク
17 ガイドウォーク	18 ガイドウォーク	19	● 20	21	22	大暑 23 ガイドウォーク 八文学講座 「榎立尾崎散歩」
24 ガイドウォーク	25	26	27	夏休み特別行事 「潮だまり探検隊①」	● 29	30 ガイドウォーク
31 ガイドウォーク						

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
7/10(日) (13:30～15:00) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員:10名

八文学講座 「榎立尾崎散歩」

毎月行っている八文学講座。今月は榎立・尾崎地区周辺を歩きます。
7/23(土) (13:30～15:00) 中学生以上
榎立児童遊園地 集合・解散 参加費:50円 定員:10名

夏休み特別行事 「潮だまり探検隊①」

今年の夏休み行事第一弾。潮だまりに棲む多様な生きものを観察します。
7/28(木) (10:00～11:30) 小学生以上(小学生は保護者同伴)
垂戸海水浴場 集合・解散(予定) 参加費:50円 定員:15名

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日及び祝日、(10:30～約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 無料 定員:10名

ビデオプログラム

- 10:00～ 八丈・海・生きものたち
 - 11:00～ おじゃりやれ 八丈島
 - 14:00～ おじゃりやれ 八丈島
 - 15:00～ おじゃりやれ 八丈島
 - 16:00～ 八丈・海・生きものたち
- 当面の間は上記のみの上映になります

東京都八丈ビジターセンター 2022.7.1 第254号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入館無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話:04996-2-4811 Fax:04996-2-4888
E-mail:info@hachijo-vc.com
http://www.hachijo-vc.com

編集後記

6月の八丈ビジターセンターは突然の停電により臨時閉館となり、二週間もの間、開館できない状態が続きました。現在は通常通り開館していますが、電気設備の最も大切な部分に不具合が生じたらしく、復旧工事も大変だったようです。(T.K.)